

12 さいがい 災害

ばめん ニュースばんぐみ いちぶ
場面：ニュース番組の一部

じょうきよう さくねん じしん ひがい ひさいしゃ めい はい
状況：昨年の地震の被害のニュース。被災者3名のインタビューがそれぞれ入る。

とうじょうじんぶつ
登場人物：

- A (だんせい アナウンサー)
- B (だんせい けんせつぎやうしゃ さかもと 男性、建設業者 (坂本))
- C (じよせい しょうてん かわさき 女性、商店のオーナー (川崎))
- D (じよせい しょうがっこう せんせい たなか 女性、小学校の先生 (田中))

(ニュース開始の音)

A: つづいてのニュースです。さくねん がつ はつせい もりみずはんとうじしん げつ しんげん もりみず
半島の岩水市で、マグニチュード7.6、最大震度7を観測し、大きな被害がありました。現在も多くの地域で復旧
作業者が続いています。

ひさいち かたがた いま せいかつ かだい うかが
被災地の方々に、今の生活の課題について伺いました。
さいしょ はなし うかが じもと けんせつがいはや はたら さかもと
最初にお話を伺ったのは、地元の建設会社で働く坂本さんです。

B: いま いちばん もんだい しざい ふそく どうろ ふつきゅう もくざい やていとお とど
今、一番の問題は資材の不足です。まだ道路が復旧していないので、木材やセメントなどが予定通りに届か
ないんです。資材の価格も上がっていますしね。そのせいで、住宅の再建が予定よりも数か月遅れています。
さぎょういん たりません おうえん ねが ひと あつ はや いえ なお もと いえ かえ
作業員も足りません。応援をお願いしても、なかなか人が集まらなくて。早く家を直して、元の家に帰りたいとい
う声に心えられないのがつらいですね。

A: つづ かせつてんぼ えいぎやう さいがい しょうてん かわさき
続いて仮設店舗で営業を再開した商店のオーナーの川崎さんです。

C: えきまえ しょうてんがみせ じしん ぜんぶ いま し あ みせ いちぶ か
駅前商店街で店をやったんですが、地震で全部なくなってしまって。今は知り合いの店の一部を貸して
もらって、仮店舗でやっています。でも、お客さんが戻ってこないんです。売上は震災前の3分の1くらいです
ね。はあ、これだとしょうじき生活はできないですよ。やっぱりいわみず あぶ いま かんこう
イメージがあるんですかね。でも私としては来てほしい。宣伝とか、観光支援とか、観光客の方が戻ってくるよ
うな工夫が必要だと思えますね。

A: さいご じもと しょうがっこう きやうし たなか はなし き
最後に、地元の小学校の教師、田中さんにも話を聞きました。

D: こゝではまだ半分くらいの子が仮設住宅から通っています。べんきやうどうぐ じゅうぶん かてい
勉強道具が十分にそろっていない家庭もありますし、せいかつかんきやう おつ
生活環境も落ち着いていない子どもたちも多くなります。きやういく ところ しえん ひつよう
教育や心のケアへの支援が、もっと必要だと
かん じていますが、きやうし ひさい がっこうぎやうむ まわ せいいつぱい しょうじき
感じますが、教師も被災しているので、学校業務を回すので精一杯というのが正直なところですね。

A: こゝのように、ふつこう すす うえ かいのこ じゅうみんひとり こえ き しえん
このように、復興を進める上で、さまざまな課題が残っています。住民一人ひとりの声を聞き、どんな支援
が必要か、考えていく必要がありますね。